

## 第8章 よりよい面接のために

第7章では、面接のすすめ方について述べたが、ここでは、具体的な面接の例から、よりよい面接について考えてみたい。

### 1. 最初のやりとり

先生： 君、どうしたんだ。この間の中間テストの結果は、ずい分ひどかったんじゃないか、こんなじゃしょうがないぞ、え！

生徒： すみません。勉強しなくてはいけないとわかっているんですが、時々、もう、完全に参っちゃって、もう、このままじゃ気が狂っちゃうんじゃないかって思って、勉強もなにも手がつかなくなって……………  
どうしていいのか、自分でもわからないんです……………。

先生： 今がどういう時期か、わかってるだろう。もうすぐ期末試験があるっていうのに、一体どうなっちゃってんだよ？ スランプってのは、だれにでもあるもんだよ。そんな時こそ、自分で自分をコントロールしなくっちゃ。もう子供じゃないんだし、そのくらい、何とかならぬものかねえ。

生徒： ええ、そうなんですけど、まわりのことが気になるっていうか、ぼんやり考えこんじゃって、時間ばかりたっちゃって……………。

先生： 気分転換が必要なんだよ、気分転換が。散歩するとか、何か……………  
そういうことでもすれば、集中力もつくもんだよ。

生徒： そうですか……………。

先生： 君は今まで、まあまあだったじゃないか。こんな成績をとるなんて、一体、どうなってるんだ。2年生ってのは、まだ受験のことがピンときてないのかもしれないけど、中だるみしているのか？ ぼんやりっていうけど、少しはやれたんだろう？

生徒： ええ、それが全く手につかなくて……………。

先生： しかし、君は、家の仕事を手伝ったりということもないんじゃないか？ それで、全く手がつかないってのは、甘えているんじゃないか？